

## 青年部

## 青年部総会開催

青年部（永田幹人会長）第30回通常総会が、4月27日（水）午後4時から THE KAWABUN NAGOYA（名古屋市中区）で、会員37名（委任状を含む。）が出席して開催されました。

総会の司会進行は永井弘児副会長、来賓として、一般社団法人愛知県産業廃棄物協会会長 永井良一氏、同専務理事待遇 渡邊 修氏、事務局長 小坂元信氏が出席されました。

来賓挨拶で永井会長は「今年は1月にありましたダイコー問題で、皆様方にご心配をおかけいたしました。先回の臨時総会にて結果を出しました。現在我々協会及び連合会はこの問題に関しまして、再発防止に努めております。



来賓挨拶をする  
永井会長

今後協会の活動として、来年は役員改正があります。三役は70歳以上定年となり卒業される方もいますので、これにより大きく組織が変わります。新しい組織になった時には、青年部の皆さんが是非参加できるようにしていきたいと思っておりますので、積極的に参加をお願いします。若い力で協会の発展に貢献していただきたいと切に願っております。また私は全国産業廃棄物連合会の法制度委員会の委員長をしておりますが、今年または来年に廃棄物処理法の改正がありますので、その専門委員会が設置されました。5月19日第1回目の審議会が行われ、1年半かけて討議した内容の27項目と2項目の意見書を、事前に環境省に提出しました。ひとつでも多くの内容を取り上げて頂けるよう、我々も努力する所存ですが、青年部の皆様のお力も必要ですのでよろしく願いいたします。」と述べました。

森田力也副会長の開会の辞後、永田会長から「熊本の大震災により、今後30年以内に70%の確立で発生すると思われる大震災が、3年以内になったかもしれない、と一部の報道を耳にしました。本当なのだろうか、と思いつつも常に危機感持ち、



会社並びに地域の災害への備えをしっかりとしていかななくてはならないと痛感しております。さて、今年青年部は30周年を迎えます。永年の歴史を作っていた先輩方に感謝し、記念の年を祝っていきたいと思っております。是非皆様方のお力添えをお願いいたします。」と挨拶がありました。



開会挨拶をする  
永田会長

議長には、近藤大樹副会長が選出され審議に入りました。

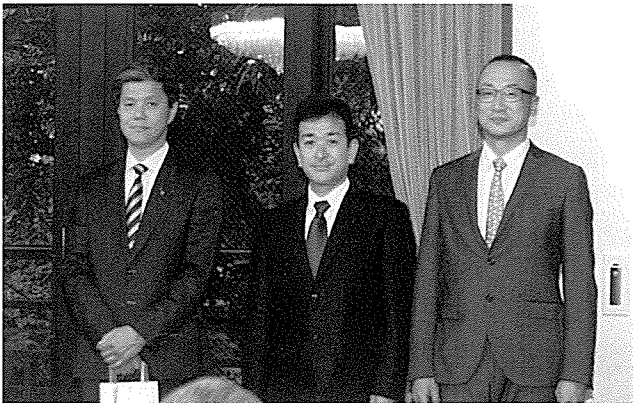
- 第一号議案 平成27年度事業報告、貸借対照表、収支計算書及び剰余金処理承認
- 第二号議案 平成28年度事業計画及び事業収支予算書承認
- 第三号議案 慶弔規定

第一号議案、第二号議案は原案通り承認されました。第三号議案の慶弔規定は、結婚・出産のお祝い金、非常災害時の見舞金、支給回数・支給対象者は規定に基づき、例外においては役員で検討する、とあり原案通り承認されました。

総会は梅谷岳志監事の閉会の辞にて終了しました。

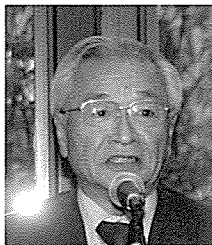
その後青年部を卒業される清水善実氏、鬼頭秀幸氏、相木 徹氏（欠席）、新井宝造氏らが紹介され、それぞれに青年部に対する思いを込めた挨拶が述べられました。永田会長から卒業生に記念品が贈与さ

れ、会場からは感謝の意を込めた満場の拍手が贈られました。次に新規会員の木村圭介氏／（有）ケイ・サポートの紹介があり、木村氏から入会の挨拶がありました。



青年部を卒業された清水善実氏（左）、鬼頭秀幸氏（中）、新井宝造氏（右）

懇親会は同会場のレストランで行われ、永田会長の挨拶、来賓の協会専務理事待遇 渡邊 修氏の挨拶があり、事務局長 小坂元信氏の乾杯の音頭にて会食が始まりました。今年は会場が THE KAWABUN NAGOYA となり、洗練された料理に会話がはずみました。



挨拶をする  
渡邊専務理事待遇

## ■平成28年度事業計画

業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況ではありますが、こんな時だからこそ、手を取り合いお互い資質の向上や情報の交換をすることにより信頼を勝ち取っていきたくと考えております。

又、青年部は次代を背負う若きリーダーを中心として組織し、協会の健全なる発展を図ると共に、企業の合理化、近代化及び高度化を推進するために、会員の研修と相互の連携を強め、より良い経営者、指導者をつくることを目的として結成され、今年度で30周年となります。

30年の歴史に感謝し、結成当時の思いを継承しつつ、各会員の発展の一助となる事業活動を行ってまいりたいと思います。

## ＜具体的計画＞

1. 30周年記念事業
2. 部会員相互の連携を深めるための事業
3. 経営にまつわる部会員の資質向上を図るための事業
4. 部会員相互の親睦並びに外部との交流を深めるための事業
5. 先進事例等調査研修のための事業
6. 全産連青年部協議会及び各地域ブロックに関する事業への参加
7. 協会及び各支部事業・活動との連携・協力
8. 部会活動及び会員のためになる情報の発信
9. 部会員拡充を図る活動
10. その他、上記に付帯する関連事業

前記各事業・活動を実施するため、本年度は以下の委員会を設置するものとする。

1. 運営委員会
2. 経営開発委員会
3. 交流委員会

## ＜事業・活動年間スケジュール＞

開催月	愛知県青年部会 事業・活動	その他事業・活動
平成28年 4月	第30回通常総会	
5月		中部ブロック総会
6月		愛知県産業廃棄物 協会総会
7月	交流委員会全体事業	全産連青年部協議会 総会
8月		
9月	経営開発全体事業	
10月		
11月	運営委員会全体事業 (30周年を記念事業)	
12月		中部ブロック忘年会
平成29年 1月	交流委員会全体事業 (新年会)	
2月		
3月	経営開発全体事業	全産連青年部協議会 全国大会